

献血者の皆様へ

平成14年4月よりHCV抗体検査の結果が陽性の方に対して、
核酸増幅検査体制が確立したことで、
C型肝炎ウイルス（HCV）に感染しているかどうかについて、
より正確な結果をお知らせできるようになりました。

HCV 抗体検査の結果 陽性

抗体がたくさんできている
[HCV抗体価 2^{10} (4,096倍)以上]

抗体があまりたくさんできていない
[HCV抗体価 2^{11} (2,048倍)以下]

核酸増幅検査(NAT)

平成14年4月より始めました

HCV-RNA
陽性

HCV-RNA
陰性

現在HCVに**感染している可能性**が
極めて高いと判断されています

現在HCVに**感染していない可能性**が
極めて高いと判断されています

C型肝炎ウイルス

HCV

検査結果の通知について

献血にご協力いただきありがとうございます。



C型肝炎ウイルス
(HCV)とは?

肝炎ウイルスには、A型、B型、C型、D型、E型などがあります。これらの肝炎ウイルスの感染によって起こる病気がウイルス肝炎で、どのウイルスによる肝炎も症状は似かよっています。日本において問題になるのはA型肝炎、B型肝炎、C型肝炎です。

C型肝炎ウイルスは、かつて非A非B型肝炎ウイルスと呼ばれていたものの一つです。

抗体とは?

私たちの体には、ウイルスや細菌など、もともと体の中には無かったもの（異物）が侵入すると、これらの異物に対していろいろな反応を起こす免疫という仕組みがあります。その仕組みの一つとして異物に反応する特殊なたんぱく質（免疫グロブリン）が作られます。異物に反応する免疫グロブリンを「抗体」といいます。

核酸増幅検査
(NAT)とは?

核酸増幅検査(NAT)は、ウイルスを構成する核酸(DNA又はRNA)の一部を約1億倍に増幅して検出するため、ごく微量のウイルスでも現在、血液の中に存在するかどうか(感染しているか)を知ることができる検査法です。